

平成25年度一般会計補正予算などを可決

6月定例市議会が6月11日から26日までの日程で開かれました。

山岸市長は招集あいさつの中で、かつやま、ときめき、大使である三浦雄一郎さんの80歳でのエベレスト登頂成功を讃えました。

また、本年度から行っている、恐竜を全面に出した観光戦略について触れ、8月24日に市民会館で開催する夏フェスのPRも行いました。

最後に、中学校の再編については、今から概ね10年後に行うために、平成30年度から最終検討に入り、平成31年度に最終決定をするという方針を説明しました。

決まった内容

◆補正予算

平成25年度的一般会計補正予算が可決されました。
主な内容として、市民交流センターである旧奥越地域地

場産業振興センターの改修について、今年度での整備完了予定を、2か年での整備に変更したことによる減額や、

中学校の教材備品整備、地域コミュニティ活動に対する助成など、一般会計に143万4千円を増額し、総額を116億2562万円としました。

◆条例

2件が制定され、1件が一部改正されました。
・勝山市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定
・北陸育英会育英基金条例の制定
・勝山市母子父子家庭等医療費の助成に関する条例及び勝山市重度障害児(者)医療費の助成に関する条例の一部改正について

◆その他

その他5議案が可決され、固定資産評価員の選任につ

て同意されました。

また、2件の意見書案が可決、4件の陳情が採択され、1件の陳情が不採択となりました。そのほか、継続審査となっていた陳情1件の取り下げが許可されました。

◆委員の選任

勝山市固定資産評価員の選任について同意されました。
松井 隆治氏(沢町2)



中学校再編にかかる方針について

勝山市教育委員会では、平成18年度の「勝山市の中学校の望ましいあり方検討委員会」報告を基本とし、地区別座談会や市民アンケート、保護者の皆さんや教職員の意見を集約し、中学校の現状を踏まえたうえで、中学校再編にかかる方針を決定しました。

〔方針〕

◆再編の時期
勝山市の中学校再編は、今から概ね10年後(平成36～37年度)を目途として、検討を進めます。

◆検討委員会の開催

平成30年度に「中学校再編検討委員会」を立ち上げ、平成31年度中に方針の結論を得ます。そのため、学校の状況について、毎年データの収集・分析を時系列的に行います。

◆中学校の課題への対応

現在の中学校に内在する課題(免許外教科担当教員の発生、部活動選択肢の減少等)に対して、補完的な教員配置や部活動の複数校合同チーム編成などの可能性を検討し、必要な対策が実施できるよう努めます。

◆小学校の再編について

小学校については、これま

でどおり、それぞれ学校区の保護者・地域住民の意思を尊重して対応します。

〔今後の課題〕

現在は、学校や関係者の努力や工夫によって、小規模校の持つ課題に対処しながら、逆にその利点を活かした学校運営に努めており、大きな支障は出ていません。

しかし、今後さらに生徒数が減少していく中で、小規模校の課題が大きく表面化してくることも懸念されるため、いずれは中学校再編により、問題解消を図るべき時期を想定しておく必要があります。さらに、現在の教員配置や部活動での課題も、今後徐々に鮮明になってくることも考えられますので、できるだけ早く対応策が講じられるよう努力します。

とっておきの勝山、
みつけよう。

勝山市フォトコンテスト
作品募集

勝山市の四季や見どころを題材とした魅力的な写真を募集します。

なお受賞作品は、2015年版の勝山市カレンダーや絵はがきを使用し、パンフレットなどにも掲載する予定です。

募集部門▶勝山の春、夏、秋、冬、恐竜、白山・平泉寺、勝山城博物館、スキージャム勝山、越前大仏、えちぜん鉄道

賞▶グランプリ(1点)、入選(30点)、特別賞(椎名誠賞ほか数点)、部門賞
募集締切▶平成26年7月31日(木)

※平成26年8月に審査を行い、その後入賞者に通知およびホームページ上で結果を発表します

● 勝山市フォトコンテスト
実行委員会事務局(観光政策課内)
☎88-8117

とっておきの勝山、みつけよう。

平成26年7月31日

勝山市フォトコンテスト
作品募集

四季や恐竜、鉄道など
全10部門
多彩なテーマから
応募可能!

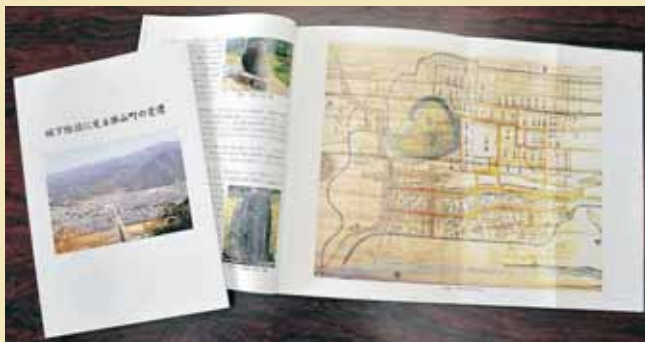
2015年の勝山市カレンダーに掲載予定!

勝山市フォトコンテスト実行委員会

「城下絵図に見る勝山町の変遷」

このたび、市史編纂室嘱託職員の山田雄造さんが、上記タイトルの冊子を自費出版しました。

「平成23年秋に成器西小学校で見つかった新たな城下絵図3点は、城下町勝山の成立とその発展を知るうえで大変貴重な資料です。しかし、絵図自体は痛みが激しく、一般公開するには修復が必要となるため、公開前に絵図の概要や特徴を紹介しておきたかった。」と話す山田さんは、「この冊子から、幾度となく大火に見舞われながらも復興を遂げてきた勝山の人々のたくましさを感じ取ってもらえたら」とも話していました。



A4判、92ページ。現在の住宅地図のような城下絵図が数点掲載されています。この冊子は、市立図書館のほか、市内各小中学校に配布されていますが、ご希望の方には、下記で販売します。

● 市史編纂室(教育会館3階)
☎88-8113(史蹟整備課直通)